



災害対応用 電動アシスト三輪自転車 レスキューバイク

「地元企業の技術が支える信頼の国産モデル」

自転車産業発祥の地である堺市には、古くから培われた鉄加工技術の歴史があり、本取組は地元企業の知見と技術が結集したものとなっています。

01

機動性 × 実用性

- ・車両の入れない地域でも安定して走行可能
- ・資機材の搬送や避難支援にも対応
- ・電動アシストで坂道や長距離の負担を軽減

02

官民連携 × 技術力

- ・自転車産業発祥の地・堺の技術を結集
- ・地元企業の鉄加工技術と消防局の検証結果を融合

03

防災力 × 持続可能性

- ・災害時は避難支援や物資搬送に活用
- ・平常時は訓練やイベントで活用
- ・地域資源を活かす“持続可能な防災基盤”を目指す

従来



地震災害や土砂災害への派遣活動を通じ、隊員の多くが資機材搬送の負担を感じました。台車では安定を保つことが難しく、瓦礫やぬかるみでは困難を極め、時間と体力を消耗しました。

導入後



電動アシスト付き三輪構造により、坂道や悪路でも安定した走行が可能です。大量の資機材を効率的に搬送でき、隊員の体力消耗を抑え、現場到着後の活動効率を高めることができます。



内装5段変速ギアを搭載し、地形や積載量に応じて最適な走行を選択できます。坂道や悪路、荷物を積載した状態でも軽力で走行できるのが特徴です。燃料を使用せず、停電時でもバッテリー電力で稼働できるため、災害時の搬送手段として非常に有効です。

電動アシスト付き三輪構造を採用し、積載時でも高い安定性と走破性を確保しています。最小回転半径1.35mと優れた旋回性能を有し、危険な場所でも自在に走行できます。車体重量は約70kgと軽量で、最大150kgの荷重を安全に搬送可能です。



今後は防災分野にとどまらず、福祉や地域活動など多様な場面で活用を視野に入れています。災害時の搬送手段としての機能に加え、平時には高齢者支援や地域イベントでの物資運搬など、多目的な運用が可能な装備として発展させていきます。

悪路での走行を想定し、課題を抽出・検証しながら開発を進めた車両です。災害現場で求められる安定性・操作性・積載性のバランスを追求し、実証結果を踏まえて改良を重ねました。より安全で扱いやすい構造とし、現場で確実に機動力を発揮できる設計としています。



堺市消防局

所在地：〒590-0976 大阪府堺市堺区大浜南町3丁2番5号

電話番号：072-238-6048